



▲受賞した田邊俊成GM（中央）

セルリオ島根 田邊俊成GM
「トッブリゲトロフィー」
受賞

セルリオ島根ゼネラルマネ
ジャーの田邊俊成さんが、ハ
競技十団体で組織する日本ト
ッブリゲ連携機構「JTL」
の「トッブリゲトロフィー」
を受賞しました。

この賞は優れたゼネラルマ
ネジャーに贈られるもので、
地元密着クラブとして、ホッ
ケーチームとしては先進的な
活動と運営が高く評価され、
今回の受賞となりました。

授賞式は、五月十八日、東
京の岸記念体育会館において
行なわれました。
今回の受賞を契機にさらなる
チーム支援の輪が広がるこ
とが期待されます。

横田高校ホッケー選手

日本高校選抜ホッケー日本代表に選出

オランダのアイントフォー
ヘンで五月二十二日から三日
間開催された「ユースインタ
ーナショナルホッケートーナ
メント2010」に横田高校
ホッケー部から七名の選手が
選ばれました。

五月十四日、横田高校応接
室で行なわれた激励式で、井
上町長からは「日の丸をつけ
ることは誰にでもできるわけ
ではないので、横田高校が日
本ユースを盛り上げるつもり
で頑張つてほしい」とあいさ
つがありました。

また、男子代表に選出され
た藤原泉さん（三年）が「ホ
ッケーを頑張ることはもちろ
ん、他文化の人との交流を通
じて人間的にも成長したい」
と決意を述べました。

成績は、男子が優勝、女子
は、出場八チーム中第三位と
好成績を残しました。

試合では、男子代表の藤原
泉選手が合計五得点を挙げた
のはじめ、各選手が得点・
アシストなど大活躍しました。
帰国後、藤原選手は「外国



▲自信に満ちた表情の選手たち

男子
膳棚 大剛さん（三年）
藤原 泉さん（三年）
田中 世蓮さん（三年）
安部 雄貴さん（三年）
女子
景山 恵さん（三年）
錦織 えみさん（三年）
高田 結菜さん（三年）



▲集中してプレーする選手

五月十一日に横
田庁舎で行なわれ
た激励会で、代表
の小早川治幸さん
が話された「ゲー
トボールはミスが
付きもの。ミスを
しないように頑張
ってきた」とい
う言葉のとおり、
試合では、集中力
を保ったプレーが
随所で見られました。
成績は、○勝三
敗で予選リーグ敗
退となりましたが
各試合はそれぞれ
わずかな差で惜敗
しており、全国の
強豪チームを相手
に健闘しました。

健闘された 横田クラブ選手の皆さん

小早川 治幸さん（大馬木）
大島 喜一さん（大谷）
岩佐 和雄さん（横田）
土居 光則さん（横田）
小林 武夫さん（大谷）
渡部 素好さん（大谷）

地域と交流を深める場に

ほっとカフェ 「おんぼらーと」開店



仁多福祉会が運営する小規
模授産施設「けやきの郷」が
ほっとカフェ「おんぼらーと」
を、カルチャープラザ仁多の
喫茶室に開店しました。

地域の人たちとふれあいた
いという施設通所者の発案に
より、通所者の新しい働き場
として実現したものです。

五月二十七日に行なわれた
開店セレモニーで、仁多福祉
会の森山勝利理事長は「店名
は、物腰が穏やかで明るい
という意味がある。この店も
そういうふうな感じ」とあ
いさつがありました。
井上町長からは「笑顔があ



▶丁寧接客するスタッフ

ふれ、精神的なうつろ
ぎを与えられる店とし
て発展してほしい」、
また、町精神障害者家
族会の岩田明人会長は「愛
情と感謝の気持ちで接
客してほしい」とそれ
ぞれ激励されました。
セレモニーの後、来
店者があると、スタッ
フは慣れないながらも
丁寧に注文をとり、接
客していました。
メニューには、ドリ
ンク以外にも、仁多米
焼きドーナツセット、
奥出雲和牛カレー、仁多米お
にぎりなど、地元の食材を使
ったメニューが用意されてい
ます。

営業時間は、祝日を除く月
曜から土曜日の午前十時から
午後五時まで。

五月晴れのもと懸命に競技

第6回奥出雲町 小学校連合体育大会

五月十二日、第6回奥出雲町小学校連合体育大会
が、三成運動公園陸上競技場において開催され、町
内9つの小学校から、3年生以上の児童約500名
が参加しました。

このうち、フィールド種目の女子ソフトボール
投げでは、渡部リカメイさん（馬木小6年生）が
40.38mの大会新記録を出し、会場を沸かせまし
た。

この日は、気温が25度を超え、炎天下での競
技となりましたが、子どもたちは、友達や保護者
からの声援に応えようと、懸命に競技を行ないまし
た。



◀声援に応え懸命に走る児童たち

奥出雲椎茸

まいたけ

エリンギ

安全で美味しい島根の県産品に認証



▲認証書交付式の様子

島根県が昨年度から導入した、安全で美味しい島
根の県産品認証制度「美味しまね認証」に、(株)奥出
雲椎茸のまいたけ（菌床）とエリンギ（菌床）が認
証を受け、この認証書交付式が、5月27日、島根
県庁で行なわれました。

この認証制度は、「高い安全性」と「優れた品質」
を兼ね備えた県産品を生産する生産者・生産方法を
県知事が認証するもので、(株)奥出雲椎茸の産品では、
昨年の生シイタケ（菌床）に続き、3品目となります。

(株)奥出雲椎茸の安部雄二さんは「この認証により
安全性と品質のひとつの基準ができたと思う。この
ことが、より一層の販売拡大、ブランド化につなが
っていけば良いと思う」と話されました。